

ふくしま

(題字：福島中学校3年生 永澤 凛さん)

第129号

令和3年2月1日発行

議会だより

発行：福島町議会

TEL 0139-47-2215

九州方面への出漁
準備中の漁船の雄姿

写真提供：福島フォトサークル



ふくしま

福島中学校3年生 祝田 龍乙さん

ふくしま

福島中学校3年生 田澤 志保里さん

ふくしま

福島中学校3年生 松村 脩人さん

ふくしま

福島中学校3年生 村田 芽生さん

■ 定例会12月会議	P 2	■ 常任委員会レポート	P 6
■ 定例会11月会議	P 3	■ 研修会レポート	P 9
■ 各議案の審議結果	P 4	■ 夜間議会開催案内	P 10
■ 会議等出席状況	P 4	■ 町民懇談会開催案内	P 11
■ 一般質問	P 5	■ 町民の声・議員雑感	P 12

定例会12月会議

商工会主催年末抽選会

新型コロナウイルス対策の徹底を指摘

定例会12月会議は、12月9日に開催されました。

条例の一部改正、計画の変更、各会計補正予算など町長提出の議案7件を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問では2名の議員が、2項目について町の対応や考え方をいただきました。参加者は2名でした。

■条例の一部改正

○国民健康保険条例の一部改正

地方税法施行令の改正に伴い、軽減判定所得の算定基準を見直しする改正。

*基準を33万円から43万円とし、一定の給与所得者（公的年金受給）数合計から1を減じた数に10万円を乗じた額を加えるものです。

■計画の変更

○第5次総合計画の変更

事業費の変更が生じたため、総合計画を変更。総事業費は55億9,030万円。

追加・変更となった主な事業は次のとおりです。

- ・漁業生産基盤安定化事業
魚価低迷による水揚げ金額減少に対する福島吉岡漁組経営基盤安定支援金（500万円）
- ・地域経済緊急支援事業
町内商店等での消費喚起促進を図る年末大抽選会実施に係る商工会補助金（320万円）



コロナのなか年末大抽選会

- ・国民健康保険診療所小分け機購入事業
（370万円）
- ・総合体育館高圧設備改修事業
（180万円）

○過疎地域自立促進市町村計画の変更

今年度予算に伴う事業追加。

- ・高度無線環境整備推進事業
*町内全域で光ファイバー整備（延長42km）を行い、情報格差解消、教育環境の充実、「新しい生活様式」の実践を図るものです。

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第7号)

補正予算は、ふるさと応援基金寄付額の増に伴う追加、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実績見込みによる財源振替等の補正。

○ふるさと応援基金運営費

1,173万円の追加

○ふるさと応援基金費

2,000万円の追加

■国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルスに係る税の減免による減額、国庫補助金の追加等による補正。

■後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

事務処理システム改修に伴う追加等による補正。

■国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)

医薬材料費、新型コロナウイルス感染症対策備品の購入に伴う追加等による補正。各会計の補正額等は左表のとおりです。

単位：千円

会計名	補正額	後補正総額
一般会計	40,642	4,690,302
国民健康保険	1,384	780,278
後期高齢者医療	2,976	72,531
国民健康保険診療所	7,210	92,097

定例会11月会議

特別職・職員・議員期末手当

0.05月引き下げを可決

定例会11月会議は、11月26日に開催されました。

条例の一部改正、各会計補正予算など町長提出の議案6件、議会提出の議案1件を審議し、7件の議案を原案のとおり可決しました。
参画者は2名でした。

■条例の一部改正

○特別職、職員の給与に関する各条例の一部改正

国の人事院勧告に伴い、特別職・職員・会計年度任用職員の期末手当の支給月数を0.05月引き下げる等の改正。

補正予算の内容

■一般会計補正予算(第6号)

人事院勧告に伴う条例改正による期末手当の減額、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業の増に伴う追加による補正。

主な内容は次のとおり。

○漁業生産基盤安定化支援事業費 500万円の追加

○地域経済緊急支援事業費 320万円の追加

○職員給与費

180万4千円の減額

■介護保険特別会計補正予算(第2号)

人事院勧告に伴う条例改正による、職員・会計年度任用職員期末手当の減額補正。

■国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

人事院勧告に伴う条例改正による、職員の期末手当の減額等補正。

■水道事業会計補正予算(第3号)

人事院勧告に伴う条例改正による、職員の期末手当の減額等補正。

単位：千円

会計名	補正額	後補正 予算総額
一般会計	5,801	4,649,660
介護保険 (保険事業勘定)	△ 66	549,153
国民健康保険診療所	△ 89	84,887
水道事業	△ 34	322,490

議会関係の条例改正

■議会議員の歳費・費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職の期末手当の支給月数が改正されたため、議会議員の期末手当も0.05月引き下げとする改正。

人事院勧告とは？

人事院が毎年、民間企業の給与等の実態を調査し、国家公務員の給与と比較し、民間企業勤務者と国家公務員との給与が同水準になるよう国に見直しを求めることを人事院勧告といいます。

地方公務員の給与等の見直しについては、この国家公務員の人事院勧告に準じて実施されております。

各議案の審議結果

・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議案	議員名								審査結果	
			花田	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿		平野
11月会議 (11/26)	31	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	32	職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	33	令和2年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	34	令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	35	令和2年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	36	令和2年度水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委9	議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月会議 (12/9)	37	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	38	第5次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	39	過疎地域自立促進市町村計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	40	令和2年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	41	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	42	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	43	令和2年度国民健康保険診療所特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◆ 会議等出席状況 ◆

会議や議会へ通知があった行事等の12月から1月までの出席状況をお知らせします。
 「○」は出席、「×」は欠席、「-」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年月日	会議・行事名	花田	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
R 2. 12月1日	正・副議長定例会12月会議議案説明	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
2	一般質問通告	-	-	○	-	-	-	-	○	-	職
	議会運営委員会(12月会議の運営)	○	○	○	-	○	-	-	○	職	職
4	渡島西部広域事務組合議会第3回定例会	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○
	渡島西部四町重点要望事項協議	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
7	定例会12月会議勉強会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
9	定例会12月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会(12月会議反省事項)	○	○	○	-	○	-	-	○	職	職
18	経済福祉常任委員会(岩部クルーズ)	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○
22	タブレット導入に係る説明会(デモ)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
25	経済福祉常任委員会意見書手交	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○
R 3. 1月19日	議会運営委員会(1月会議の運営)	○	○	○	-	○	-	-	○	職	職
	定例会1月会議(補正予算:ワクチン接種他)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会(1月会議の反省、議会だより編集)	○	○	○	-	○	-	-	○	職	職
21	渡島西部四町議会議員連絡協議会第2回理事会	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○
27	経済福祉常任委員会(種苗生産施設、森林組合他)	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○
28	町内会連合会総会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○

一般質問

2名の議員から一般質問がありました。質問・答弁を抜粋・要約して掲載しました。詳しい質問内容については、議会ホームページをご覧ください。



小鹿 昭義 議員

働く意欲のある高齢者を活用しては現制度を有効に活用していただく

【小鹿昭義議員】
町内で、65歳以上で軽微な作業でも働きたいと願う方々の声を聞く。一方で軽微な作業を有料でも依頼したい高齢者もいる。
マッチングのための調査と、高齢者の働く意欲と健康増進の相乗効果も期待できるシルバー人材センターに類似した組織について町長の考え方を伺う。
また、独居高齢者の中にはカラオケを楽しみたいと思っている人もいる。社会教育の一環として、送迎バスや会場の提供を計画・検討できないか教育長に伺う。

【鳴海青春町長】
当町では漁業や水産加工業などで人手不足の状況にあるが、町において求人広告の配布や事業主が求人への周知を行っており、調査の必要はないと考える。
また、平成12年にシルバー人材センター的な「高齢者事業団」を組織し活動していたが、平成20年に解散した。
その後、町では、除雪費用等の補助を行う中で、町内会の協力をいただいているが、そこに高齢者も従事しており、現制度の有効活用で要望を充足していると判断している。

【小野寺則之教育長】
以前、高齢者学級事業の中でカラオケ教室を実施していたが、平成30年度以降実施していない。要望が多いようであれば、来年度以降、関係者と協議し検討したい。



平沼 昌平 議員

国勢調査結果を受けたネット利活用は環境整備を進め福祉サービス等に活用

【平沼昌平議員】
今年の国勢調査期間が終了し、当町の回答率が渡島西部四町で3番目と報道された。インターネットによるオンライン回答率では最も低い状態にあった。
この結果を受けて、当町ではどの程度問題意識を持っているのか伺う。地区によっては高齢者の割合が多く調査員の回収がメインとなっているところもあると聞く。当町ではどのような形で町民周知したのか。
光ケーブルを利用し町内のインターネット普及率を100%にしようとしている現状から今後の利活用の考え方を伺う。

【鳴海青春町長】
当町の高齢化率は約50%と高く、高齢者世帯におけるインターネット環境整備が進んでいないことから回答率の低さに影響しているものと推測する。
町民周知については、調査員が調査書類を配布する際、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターネット回答の奨励と郵送による回答も可能と協力をお願いした。
今後のインターネットの利活用については、町の過疎化、高齢化が進行する中で、高齢者の見守り等の福祉サービスへの活用や窓口サービスの迅速化、効率化につながるものを目指してまいりたいと考えている。

執行方針の取り組み状況を調査！ 常任委員会レポート

所管する関係施設・事業等の課題や問題点を把握するため、町内視察と令和2年度の町執行方針について、それぞれの委員会です管する施策に対して取り組み状況の確認を行いました。

総務教育

【調査概要】

R 2.11.9 町内視察・執行方針確認

〈視察施設等〉

・塩釜町内会館新築事業

【所管関係施設・事業等の視察】

1. 塩釜町内会館新築事業

9月1日完成の塩釜町内会館については、有効活用を期待する。

災害発生時に避難施設としての役割を担う各町内会館に対する、最低限の備蓄品配置等、円滑な避難所運営の方策を検討すべきと思慮する。



新築の塩釜町内会館（集会室）

【執行方針の取り組み状況の確認】

1. 各大学との事業展開について

北海道大学・公立はこだて未来大学・東京農業大学との事業については、社会情勢の変化等により、所期の目的に沿った事業展開が大きく変化・後退していることから、今後の包括連携の在り方・事業展開等について、鋭意検討する時期に来ていると思慮する。

今年度で事業終了の小学生プログラミング講座については、GIGAスクール事業展開の視点からも、次年度以降も継続されるよう強く望む。



公立はこだて未来大学の学生による小学生プログラミング講座（福祉センター）

2. チャレンジスピリット事業について

当事業は、新たな起業家に対する施設整備の支援が事業対象となっているが、起業家が自立していく重要な手段となる広告宣伝等のソフト事業についても対象となるよう制度を改良することを強く望む。

3. 地元企業雇用等促進条例について

当制度の目的は、福島商業高校新卒者の地元雇用の促進と定住人口確保であり、さらに定住・少子化対策を検討する場合は、助成期間に引き続き、結婚・子育て支援まで途切れることのない一連の制度設計を検討されたい。

外国人技能実習生については、新型コロナウイルス感染症の影響による期間延長や、法改正による同一事業所再採用の事例等があるので、実態に即した条例改正を検討されたい。

4. 「第2青函トンネル構想を実現する会」の活動状況について

第2青函トンネル構想は、「新幹線本来の高速走行の実現、本州との物流強化による北海道経済の底上げ等」を目的としているが、北海道や国関係機関は、未だ積極的に取り組む状況にない。

11月2日の北海道経済連合会による「第2青函トンネルシンポジウム」では一歩前進した感じがするが、構想実現には、北海道全体で取り組む組織体制が必須であり、さらに時間を要するものと思慮される。

町構想を実現する会としては、西部4町はじめ渡島・檜山各町、外ヶ浜町（青森県）等との連携・連動が重要であり、地元選出国會議員・北海道議會議員の活動参加を促し、国・北海道による第2青函トンネル実現に向けた積極的な活動の強化を望む。

経済福祉

【調査概要】

R 2.11.16

町内視察・執行方針確認

〈視察施設等〉

- ・福島漁港船揚場屋根施設整備事業
- ・吉岡漁港岸壁整備事業
- ・町道整備事業（館古団地1号線・日向団地6号線・吉岡宮の下線）
- ・美山浄水場前処理施設整備事業

【所管関係施設・事業等の視察】

1. 町道日向団地6号線整備事業

今年度事業分は良好と認めるが、残事業については、令和4年度事業実施に向け、令和3年度における測量調査や国有地払下げ協議等、鋭意作業を進められたい。

2. 美山浄水場前処理施設整備事業

工期内の安全な工事の推進と、本格稼働前のシステム確認・各種調整・マニュアルの手順確認等、遺漏なきよう進められたい。



工事中の美山浄水場前処理施設

【執行方針の取り組み状況の確認】

1. マグロ・イカ漁業者の昆布養殖の状況について

早取り昆布出荷数量は、計画数量500 tに対し、全体で375 t、その内、マグロ漁業者の出荷数量は73 tで、計画数量150 tに対し49%の出荷となった。

今年の出荷数量は、天候等の影響で昨年に引き続き計画数量に届かなかったとのことであるが、昨年度所管事務調査で言及しているとおおり、漁業協同組合が主体となり、昆布養殖業者・マグロ漁業者専用出荷の水揚げ時期等の調整を積極的に進めるべきと思慮する。

2. 養殖アワビの販売状況等について

令和2年10月末現在の養殖アワビ販売は、活アワビ・冷凍アワビ併せて6,544個、163万862円であり、販路拡大につながるPR活動を積極的に続けており、購入業者から個数販売だけではなく、重量販売（キロ売り）の検討要請があったとのことである。

今年度の販売状況等に基づき、議会が提言してきている活アワビの販売サイズや単価、業者要望のキロ売り等、市場に連動するブランド化の検討を積極的に進めるべきと思慮する。

3. 社会福祉協議会の財政状況について

協議会への町支援は、今年度から概ね5年間、各年800万円としており、協議会では、「組織体制の見直し、さらなる経費削減、事業の見直し」を骨子とした経営健全化計画を令和元年度に策定し、町の支援期間内での経営健全化達成を目指している。

町民からの会費増額、新たな事業取り込み等経営安定化につながる積極的な事業展開を検討しているが、自主財源確保・更なる経費節減は厳しく、町としても協議会の取り組み状況を充分把握し、町委託事業の追加等、経営健全化に向けた可能性について検討すべきと思慮する。

4. 今後の観光の在り方について

当町の観光は、町事業を受託している福島町まちづくり工房の岩部クルーズ事業の積極的な町内外PR活動により、大きくクローズアップされているが、組織体制は脆弱である。

設立当初から大きく町が関与している工房組織への支援強化、町が事務局となっている観光協会の組織体制の構築について、町が関係機関を誘導し、積極的に取り組むべきであると思慮する。

新型コロナウイルス感染症対策 (第3弾:「国の第2次補正」)

【調査概要】 調査事件10 R 2.11.16開催
町から「国の第2次補正」対応の地方創生臨時交付金事業第3弾の交付金対象事業(案)が提出されたので、調査をしました。

【論点と意見】 予算総額 8,200千円 (交付金充当額 7,200千円)

1. 交付金対象事業(第3弾)について

- ・漁業生産基盤安定化事業
福島吉岡漁業協同組合に対する経営支援金
5,000千円
- ・地域経済緊急支援事業
福島町商工会の消費喚起・促進を目的とした商店街活性化イベントに対する支援金
3,200千円

2. 総括的意見について

新型コロナウイルス感染症対策に係る産業分野への対策は、理解した。ただし、地域経済緊急支援事業については、多数の人が集まり密になることが想定されることから、マスク着用・消毒はもちろんのことソーシャルディスタンスや換気に最大限配慮し実施されるよう留意されたい。

岩部クルーズ運航事業について

【調査概要】 調査事件11 R 2.12.18開催
町から今年度の事業実績と、令和3年度の事業継続の方向性が示されたので、関係資料に基づき調査をしました。

【論点と意見】 観光と連動・連携した取り組みによる波及的効果の追及!

1. 観光施策としての岩部クルーズ事業について

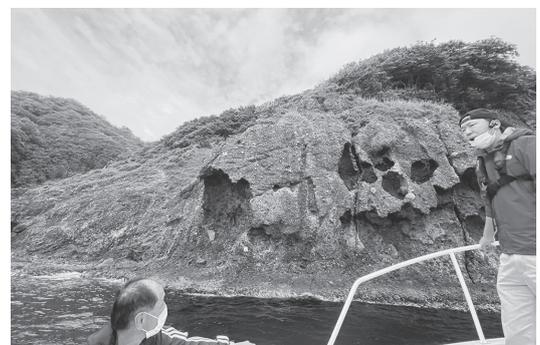
現在の当町観光施策は、岩部クルーズ事業を前面に押し出しているが、本来的には、従来から当町の観光を担ってきた横綱記念館・トンネル記念館を施設型観光、また、岩部クルーズを体験型観光と改めて位置付け直し、町内全体が観光産業の波及的恩恵を享受できる施策展開をすべきと思慮する。

(1) まちづくり工房の自主的事業展開

今後の自主的組織経営のためには、役員自体が設立趣旨をしっかりと自覚し、組織体制(役員の役割・事務局体制確立等)や経営管理(財政の現状分析・見通し)について積極的に検討を加え認識を共有する必要があり、その上で町・観光協会等と連携強化を図るべきと思慮する。

(2) 地元飲食店による食の提供

今年の事業実施で、多くのクルーズ利用者が町内での飲食を望んでいること、また、帰りに町内商店で地場産品を購入しているなど岩部クルーズとの連動連携の必要性と可能性が分かったことから、町内飲食店・商店の取り組みに期待するとともに、町の支援・誘導、参加意欲の醸成を強く望む。



(通称)オバケ岩にビックリ(岩部クルーズ)

2. 総括意見について

クルージング運航が天候等に左右され、現状の経営状況での自立は、非常に厳しいと分析されることから、一般財源による令和3年度岩部クルーズ運航事業については一定の理解をするが、運航回数増の可能性を探求し、従来同様、有利な財源確保の可能性について検討願いたい。

渡島西部四町議会合同研修会レポート

11月13日(金)、松前町町民総合センターにおいて「令和2年度松前町議会・渡島西部町議会議員合同議員研修会」が開催されました。

研修会には、四町議会議員・事務局職員など関係者43名(当町議員3名・職員3名)が参加し、熱心に耳を傾けました。

なお、研修に参加した3議員の研修成果については、定例会12月会議で報告されました。

講演名 「みんなで考える町村議会 ～ 町村議会の現状と取り組み」

講師 全国町村議会議長会 総務部長 三宅 達也 氏



1. 町村議会が抱える課題
①議員定数、②議員年齢・統一選の状況、③議員報酬・政務活動費、④議会事務局の充実
2. 最近の地方議会をめぐる国の動向
①公職選挙法の改正・選挙公営の拡大、②第32次地方制度調査会、③議員年金の動向他
3. 全国町村議長会の対応
①議員報酬の在り方最終報告、②議会の機能強化・多様な人材参画の環境整備を重点要望
4. 議会活性化に向けた取り組み
①議会活性化の取り組み状況、②議会基本条例、③通年議会・通年の会期制、④取組み事例
5. 住民の視点から考える(住民参加の取組み)
①町民参加の取組み事例、②議会報告会・住民懇談会、③情報公開(傍聴・議会中継・HP)
④町村議会の取組み事例
6. 議員の資質向上に向けて
①議会の根拠法規、②議会の使命と議員の職責、③会議の諸原則、④議員・議会の権限他
7. 議員提案・委員会提案の政策条例
①第64回実態調査、②第65回実態調査
8. まとめ・町村議会を考える
①ルールに沿って会議を運営、②互譲の精神で合意形成、③一般質問は住民目線で、
④住民に開かれた議会、⑤議会活性化・議会改革、⑥議員定数・報酬の検証、
⑦町村議会の特殊性・役割の原則に立ち返る、⑧議会事務局の強化、
⑨「地域経営者」として政策提言を、⑩議員としての自覚と自信を持ち活動を



講演をする三宅達也講師



講演に聞き入る当町議員

夜間議会を開催します

～議会を議場で見てみませんか？～



参画者席から見た議場の様子

日時：3月8日(月) 午後6時～午後9時

場所：役場3階 議場

内容：一般質問 ※議員が町の一般事務について質問すること。

手続きは必要ありません!!

令和元年度より名簿に名前を書く等の手続きは不要となりました。

**議会ホームページ・役場1階ロビーでも
ご覧になれます!!**



○議会HP

<http://www.gikai-fukushima-hokkaido.jp/>

(リンク先) 福島町HP

<http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/>

町民と議員との懇談会を開催します

～みなさんのお話を聞かせてください～



○町民と議員との懇談会日程

開催日	町内会	会場	出席議員
2月2日(火) 18:00～	松浦・吉野	松浦・吉野町内会館	佐藤、花田、杉村
	館崎1・2・3	吉岡総合センター	平沼、小鹿、溝部
	豊浜・宮歌	宮歌・豊浜町内会館	川村、藤山、平野
2月3日(水) 18:00～	吉岡1・2・3	吉岡総合センター	佐藤、花田、杉村
	白符	白符ふれあいセンター	平沼、小鹿、溝部
	上町・本町・川原町	役場（機能回復室）	川村、藤山、平野
2月4日(木) 18:00～	日向1・2・3	日向生活館	佐藤、花田、杉村
	丸山団地	丸山コミュニティセンター	平沼、小鹿、溝部
	月崎1	浜中母と子の家	川村、藤山、平野
2月5日(金) 18:00～	月崎2	月崎母と子の家	佐藤、花田、杉村
	吉田町・館古	役場（機能回復室）	平沼、小鹿、溝部
	塩釜	塩釜町内会館	川村、藤山、平野
2月8日(月) 18:00～	緑町	緑町母と子の家	平沼、花田、小鹿、溝部
	新栄町	新栄町集会所	川村、佐藤、杉村、藤山、平野
2月9日(火) 18:00～	三岳1	三岳母と子の家	佐藤、花田、杉村
	三岳2	三岳寿の家	平沼、小鹿、溝部
	千軒	千軒活性化センター	川村、藤山、平野

町民の声

福島町と私



金井田 誠悟さん
(新栄町)

長崎県の松浦市より交流職員として福島町役場産業課商工観光係に配属となりました。金井田と申します。

去年の4月から福島町で働いていますが、仕事の面だけでなく北海道の文化も知ることができ、勉強になる事が多くありました。特に北海道は長崎県と比べ、気温がとても低く向こうではあまり見られない雪が降るので、降り始めたころはすごく感激したことを覚えています。

一方で福島町と松浦市が似ている部分もありました。それは「海」の綺麗さです。透き通っており太陽に照らされている福島町の海を見て、松浦市を懐かしく思うことが何度もありました。残り3月末までの期間、福島町でしか経験できないことを目一杯楽しんで、勉強したいと思えます。

議員の雑感

一年を振り返って



総務教育常任委員
杉村 志朗

令和2年は節目の6回目の年男にあたる。希望と期待を抱き一年を無事にと新年に誓った。1月4日福島消防団出初式に出席し、火災と事故のない町づくりを誓い年始の行事を終えた。

突然新型コロナウイルスが世界各地に蔓延しているテレビを見た。特に道内は冬の観光シーズンと重なり、感染の比率が高く「緊急事態宣言」が出され、小学校から高校の休校やイベント等の自粛要請がされました。当町でもすべての計画が中止されました。地域経済に与える影響は計り知れないものと思う。

国内では12月7日現在2,300人余りの方が亡くなっている。幸い当町では感染の報告はなく安堵しているが、油断することなく予防を徹底し日常生活を取り戻す努力が必要である。一日も早く全世界のウイルス感染が終息することを願う。

議会の主な会議・行事予定

※変更・追加となる場合もあります。

2月2日(火)	総務教育常任委員会 所管事務調査 (公営選挙関係条例の制定、町税等の延滞金)	午前10時～	議会議場
2日(火)～9日(火)	町民と議員との懇談会	午後6時～	各町内会館等
9日(火)	経済福祉常任委員会 所管事務調査 (学童保育・社会福祉協議会・定住向け町有住宅)	午前9時～	議会議場
3月1日(月)	一般質問通告 議会運営委員会(定例会3月会議の運営)	午前10時～午後2時 午後3時～	委員会室
3日(水)	定例会3月会議勉強会	午後1時30分～	議員控室
8日(月)～16日(火)	定例会3月会議	午前10時～	議会議場
8日(月)	夜間議会(一般質問)	午後6時～	議会議場

編集後記

雪が少なかった昨年の冬に比べ、今年は厳しい冬となりました。新型コロナウイルス禍の自粛生活による運動不足もあり、毎日の雪かきの辛さが身に染みておりますが皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年の節分は暦のずれの関係で1日早い2月2日という珍しい年となります。

「鬼は外「福は内」。

コロナ禍鬼の撃退と、町民の皆様の安寧と健康を祈願いたします。

今年も一年よろしくお願いたします。

次回(令和3年6月1日発行)は、3月会議を中心として、予算審査特別委員会や各議員の新年度の目標(公約)を紹介する予定です。



北方領土返還要求運動シンボル「千島桜」